



Title	OUKA News Letter : 第5号
Author(s)	大阪大学附属図書館 電子コンテンツ担当
Citation	OUKA News Letter. 2021, 5
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79002
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

Ouka News Letter

第5号 2021.03

Oukaニュース

大阪外国語大学刊行物の電子化公開事業が進行中

大阪大学は、2021年に大阪大学創立90周年、大阪外国語大学創立100周年を迎えます。この節目を迎えるにあたり、附属図書館では大阪外国語大学の刊行物のOuka公開を計画しております。

『大阪外国語大学論集』や『大阪外国語大学学術研究双書』など、著作権処理ができたものから順次電子化・公開作業を行う予定です。



参考

■ [2020.11.19] 大阪外国語大学刊行物の電子化公開事業について (大阪大学外国語学部)

http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/news/post_122.html

大阪大学90周年／大阪外国語大学100周年ロゴ、大阪大学、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 - 継承 3.0 非移植 (<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>)

Physical Review Aのマイルストーン論文 「Squeezed spin states」の本文をOukaにて公開中

2020年に刊行50周年を迎えた Physical Review A (APS Publishing) が、量子情報・量子生命研究センターの北川勝浩教授による論文をマイルストーン論文に選定しました。¹

Masahiro Kitagawa and Masahito Ueda, Squeezed spin states, Phys. Rev. A 47, 5138 (1993). <https://doi.org/10.1103/PhysRevA.47.5138>

こちらの論文はOukaに収録されており、どなたでも全文をお読みいただけます。



Oukaの公開ページ

■ Squeezed spin states (Ouka)

<http://hdl.handle.net/11094/77656>



参考

■ 北川勝浩教授（量子情報・量子生命研究センター）の論文が Physical Review A の50周年マイルストーン論文に選ばれました (大阪大学)

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2020/11/1001>

1. Physical Review A 50th Anniversary Milestone. <https://journals.aps.org/pr/50th>

特集記事

Switching-ON OU+OA

このコーナーでは、大阪大学で研究活動に携わる皆様にオープンアクセス関連情報をお届けいたします。

今回のテーマ： 大阪大学オープンアクセス方針のポイント

前号のOUKAニュースでお伝えした通り、大阪大学は2020年4月17日に大阪大学オープンアクセス方針を策定しました。

今回の特集では、附属図書館と研究推進部が2020年12月に実施した教職員向けオンライン説明会の内容のポイントをご紹介します。

✓ 大阪大学オープンアクセス方針の要点

「大阪大学オープンアクセス方針」は、学術研究の発展および社会貢献の遂行のために大学としてオープンアクセスを促進するという大阪大学の意思を表明するものです。

全文は図書館Webサイトに掲載しておりますが¹、要点は下記の通りです。



本学教職員の²

役員および「国立大学法人大阪大学組織規程」第8条第2項に定める常勤の教員（教授、准教授、講師、助教、助手）



学術雑誌に掲載された研究成果を²

- ・ 学術雑誌論文、会議発表論文、紀要論文
- ・ 2020年4月17日以降に出版されたもの
※学外の研究者との共同研究成果、責任著者や第一著者でない場合も対象となります。



著者が選択した方法で公開する

- ・ 大阪大学学術情報庫（OUKA）に登録する³
- ・ その他の方法
外部リポジトリ（プレプリントサーバ等）に登録する
出版社にAPCを支払いオープンアクセス化する

✓ 先生方をお願いしたいこと

論文を発表する際にはオープンアクセス化をご検討ください。⁴
また、2020年4月17日以降に出版された論文がオープンアクセスになっているかご確認ください。なっていない場合は、ぜひOUKAへの登録をお願いいたします。

なお、出版社の許諾が得られない等、やむを得ない理由がある場合には、予め方針の適用例外申請を行うことが可能です。⁵

1 大阪大学オープンアクセス方針
<https://www.library.osaka-u.ac.jp/openaccesspolicy/>



2 大阪大学オープンアクセス方針の対象にならない方や、対象にならない研究成果についても、オープンアクセス化が推奨されます。

3 OUKAへの登録方法については次頁上段をご覧ください。

4 オープンアクセス化できる雑誌に論文を投稿しなければならない、というわけではありません。方針は決して論文投稿先を制限するものではありません。

5 論文情報（論題、掲載誌名、掲載巻号）と申請理由を記載したメールを附属図書館・電子コンテンツ担当までお送りください。

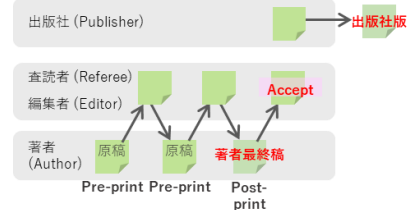
✓ OUKAへの登録方法

- ① 共著者全員の許諾を得る⁶
- ② 公開する論文ファイルを準備する
出版社が公開を許諾している版の原稿（出版社版もしくは著者最終稿等）をご準備ください⁷
※ 出版社の提示する条件が不明な場合は著者最終稿をご準備ください
- ③ 論文ファイルを図書館にメールで提出する
附属図書館 学術情報整備室 電子コンテンツ担当
ouka@library.osaka-u.ac.jp

申請受理後、図書館にて著作権調査（登録可否およびその条件の確認）を行い、登録作業を進めます。
公開禁止期間（エンバーゴ）も図書館で管理いたします。

6 前頁注記1の「大阪大学オープンアクセス方針」ページにて、許諾依頼メールのフォーマット（日本語・英語）を公開しております。

7 査読を通り最終的に出版社に提出した原稿を「著者最終稿（アクセプト版）」、最終校正・レイアウト調整を経て出版されたものを「出版社版」と呼びます。



説明会参加者からの質問（抜粋）

大阪大学オープンアクセス方針はどの程度の強制力を持つものなのでしょうか。

本方針は強い強制力を持つものではなく、あくまで大阪大学としてオープンアクセス推進の意思を表明し、先生方に研究成果のオープンアクセス化を呼びかけるものです。

方針の適用例外と見なされるケースにはどのようなものがありますか。

下記のようなケースが考えられます。

- 1) 出版社等の許諾が得られない場合
- 2) 本学以外の共著者の合意が得られない場合
- 3) 研究成果に他者の権利を侵害する内容が含まれていることが判明した場合
- 4) 研究不正が判明した場合
- 5) 出版社版と異なる版の公開を差し控えたい場合

出版社や会議によっては規定フォーマットに原稿を入力していくことがあります。このような原稿も著者最終稿とみなされるのでしょうか。

図書館にて確認いたしますので、当該ファイルを附属図書館・電子コンテンツ担当宛にお送りください。

出版社のリポジトリ登録に関するポリシーはどこで確認できますか。

主要出版社・主要タイトルのみではありますが、図書館Webサイトにてポリシーのリストを公開しております。[学外からは要認証]

主要出版社



主要タイトル



大阪大学オープンアクセス方針説明会

2020年12月4日（金）～18日（金）の計10回、オンラインにて開催
説明会当日のスライド資料は下記のページにて公開中 [学外からは要認証]
https://www.library.osaka-u.ac.jp/gakunai/openaccesspolicy_seminar/



今回の説明会でお伺いしたものも含め、オープンアクセスやOA方針、OUKAへの研究成果登録についてのご質問とその回答をOUKAWebサイト内の「よくある質問」ページにて公開しております。
<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/portal/question.html>



附属図書館・電子コンテンツ担当からのお知らせ あなたの論文を、OUKAで公開しませんか？

OUKAで論文を公開すると、世界中の読者が無料でアクセスできます。
著作権調査など、公開にあたり必要な作業は図書館で行います。
コンテンツ公開のご依頼やお問い合わせ、ご相談など、まずはお気軽に
附属図書館・電子コンテンツ担当までご連絡ください。

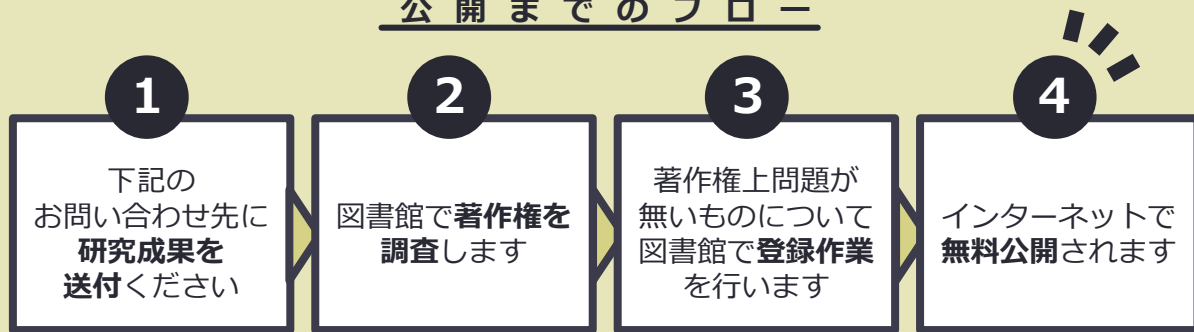


OUKAちゃん

OUKAに登録するメリット

- (1) 研究成果の可視性・知名度の向上につながる
- (2) 研究成果が無料で永続的に維持・管理される
- (3) 冊子体無くともオープンデジタルコンテンツとして研究成果を公開できる

公開までのフロー



登録の条件

研究成果を登録できる方

- (1) 本学に在職し、又は在職した役員及び教職員。
- (2) 本学大学院（博士前期課程及び修士課程を除く。）に在学し、又は在学した大学院生。
- (3) 第1号に掲げる者を構成員に含む団体。
- (4) その他、附属図書館長が適当と認めた者。

登録することができる研究成果の種類

学術雑誌論文、博士論文、紀要論文、研究成果報告書、図書、会議発表用資料、教材、
本学所蔵の学術情報資料
その他、附属図書館長が適当と認めたもの

お問い合わせ先

附属図書館・電子コンテンツ担当 ouka@library.osaka-u.ac.jp